

平成31年度 第1回坂東市行政改革懇談会 会議記録（概要）

1 日 時 令和元年8月29日（木）午後1時30分～午後3時00分

2 場 所 坂東市役所3階 大会議室

3 出席者

（1）委 員 田村光子会長、飯田修委員、市川充男委員、上坂理一委員、
倉持せつ子委員、霜田礼子委員、末利忠委員、染谷かおり委員、
東田竜司委員、柳田真嗣委員

（2）木村敏文市長

（3）事務局 企画部長、企画課長、課員5名

欠席者 林淳一副会長、根本富美江委員

4 会議要旨

（1）委嘱状交付 末利忠委員、柳田真嗣委員

（2）市長挨拶（要旨）

皆様方には、日頃より市政全般にわたり格別のご支援、ご尽力を賜り、誠にありがとうございます。また、末利様、柳田様におかれましては、委員の就任につきまして快諾をいただき、重ねて厚く御礼申し上げます。

市長に就任以来、「みんなでつくる」という理念のもと、市民の皆様からお預かりした貴重な税金を、無駄なく、ご期待に寄り添うような使い方に転換すべく、様々な改革を進めているところでございます。

本日の行政改革懇談会につきましては、社会経済情勢の変化に対応した簡素にして効率的な市政の実現を推進するための懇談会として市が条例でさだめ、設置しております重要な機関となっております。

限られた財源のなかで選択と集中を行い、今の坂東市に真に必要な事業を実施するとともに、前例踏襲ではなく、費用対効果の確認や効果検証を行い、改革や改善を図りながら、経営的視点での市政運営を目指してまいりたいと考えております。

本日ご議論いただきます「新行政改革プラン」につきましては、昨年度皆様のご意見を頂戴し、昨年12月に策定とさせて頂くことが出来ました。今回の会議はこのプランに掲載された取組について、昨年度の取組状況を取りまとめ、進捗状況や担当課評価などをご報告させていただきます。

委員の皆様より、様々な立場や観点からぜひ忌憚のないご意見を賜りますようお願いを申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

(3) 議事 (概要)

①坂東市新行政改革プラン 2018-2021 策定後の経過及び一部改訂について

(意見なし)

②坂東市新行政改革プラン 2018-2021 進捗状況結果について

5 意見交換・質疑記録 (概要)

②坂東市新行政改革プラン 2018-2021 進捗状況結果について

1. 「みんなでつくる」市政改革

事項	意見・質問 (要旨)	回答 (要旨)
<p>2 バンドウミライ楽校の充実及び卒業生との連携</p>	<p>私もバンドウミライ楽校を卒業しており、その後街づくりの活動等に参加している。</p> <p>本年度における成果指標の目標値については入楽者が 40 人、今後の活動に活かすということでのまちづくり活動情報メールへの登録等が 20 人という指標となっており、これは大凡半分の方がメールに登録しているということになると思うが、それを登録だけでなく、楽校卒業後に活動をどう活かしていくのかということについて伺いたい。</p>	<p>バンドウミライ楽校の担い手者数について、平成 30 年度の卒業者は 22 名、入楽者は 32 名であった。</p> <p>基礎課程や専門課程ということで 2 つ過程があり、過去に基礎課程もしくは専門課程を修了し、街づくり活動をしている人数は 1 期生 10 名、2 期生 11 名、3 期生 10 名、4 期生 7 名ということで現在把握できているのが 38 名となっている。卒業後活動に繋げていく事が重要となるが、その後の活動として確認している内容として、ハロウィーンパレードの企画運営や雛飾りプロジェクト、ベルフォーレ内のレリーフの写し取りや塗り絵の作成、観光交流センターの小川を利用した子供たちの魚のつかみ取り大会など、楽校卒業生の市民協働事業として実施されている。</p>
	<p>(上記の回答に対して)</p> <p>そのような活動を含め、坂東市の PR や街づくりに貢献していただけるようにして頂きたい。卒業生の全員の方が残り、何かをして頂くことが在るべき姿だと思っている。</p>	<p>(意見として拝聴した)</p>

事項	意見・質問（要旨）	回答（要旨）
<p>3 青少年の社会参加の推進</p>	<p>取組の実態について、中学生や高校生において青少年のボランティアのような社会参加の部活動又は組織等で活動を積極的に行っているところと、そうでないところがあると聞くが、ここで指す取組内容について伺いたい。</p> <p>指標では参加者が3人増と記載されており、昨年よりも3人増えたということだとは思いますが、全体的に少ない。グループや部活動、クラブのような形ならもう少し人数が増えるのではないかと思う。</p>	<p>こちらの事業に関して、基本的には市内の岩井高等学校及び坂東総合高等学校の生徒が部活動に準じるような内容で高校生坂東活性化クラブというクラブを作り、LINKs という名前で活動している。昨年度の実施回数は 21 回、ラジオの収録や朝市への参加等、高校生に学校生活に支障のない中でお集まり頂き実施している。</p> <p>こちらから強制するのではなく、自主的な参加を促し、その中で実施される事業になっている。各回の参加は昨年度の合計 104名ということで延べ人数になるが、各回の平均はおおよそ6名が参加している。対象としては岩井高等学校と坂東総合高等学校の生徒による活動ということでご説明させて頂きたい。</p>
	<p>（上記の回答に対して）</p> <p>様子が理解できた。家族が福祉関係の仕事に就いたが、高校のころからボランティア活動等で様々な経験させて頂いたことが現在の仕事に結びついたという面がある。</p> <p>若いうちから将来の職業選択に役立つような活動をした中で、自分に合っているものを探せるのではないかと思う。</p> <p>中学生では難しいとは思いますが、何らかの形で将来の職業選択に結び付くような、そして将来的に坂東市を背負うような形で、他県や他市に行くのではなく、坂東市に定住して頂けるような方向につながるのではと感じた。よろしくお願ひしたい。</p>	<p>（意見として拝聴した）</p>

事項	意見・質問（要旨）	回答（要旨）
<p>4 市民活動の活性化について</p>	<p>去年、一昨年についても女性団体より活動拠点が欲しいという提案をしたと思うが、予算の面やその他の面を考慮すると困難なのだろうかとも思われる。</p> <p>現在、岩井公民館が改修中であり、既存施設等を活用した活動拠点が必要だが、私たちも活動の場所が定まらないような状況で方々探しながら活動している。</p> <p>何らかの施設を活動拠点にするか、または岩井公民館の改修が完了した場合にその一室を活動拠点にできないか、市の活動拠点に対する考え方について伺いたい。</p>	<p>先程も意見があったが、バンドウミライ楽校のほうも入楽することが目的ではなく、その後の活動が大切であると認識している。そのためには活動の拠点となるようなものが非常に大切な部分であると考えている。</p> <p>こちらの事業については御覧のようにDという評価がついており、実際に進んでいないことが現状である。ただ、今後を踏まえるとやはり活動の拠点というものは大切なものと認識しており、市としても担当課を中心として積極的に考えていきたい。</p>
	<p>（上記の回答に対して）</p> <p>少し付け加えさせて頂くと、みんなで集える拠点づくりというものは、防災に関しても有事の際においてサークル等が一致団結し、個々の活動を活かすことができることから、市長のほうにも昨年、一昨年の女性フォーラムの女性と防災に関する提言ということをお願いしているところである。</p> <p>しかしながら、こちらの取り組みについてはD評価ということなので、市民協働課だけでなく、市全体として考えて頂き、実現について1日も早くお願いしたい。</p>	<p>（意見として拝聴した）</p>

2. 「後世に負担を残さない」財務改革

事項	意見・質問（要旨）	回答（要旨）
<p>26 市税納付の利便向上のための取組</p>	<p>過日クレジットカードで納税が可能と知り、クレジットカードで納付をしようと考えたが、納税額に応じて利用者負担となる決済手数料がある事を知った。</p> <p>クレジットカードは利便性も高く、発生する手数料についても一般的には店舗等が手数料を負担しているが、市の納税に関しては決済手数料を納税者が負担するシステムとなっている。</p> <p>手数料が金額に応じて高く取られるというようなことになると、従来の銀行振替とどちらが経済的かと考えてしまう。</p> <p>納税に関する手法について、今後どのような取り組みを実施していくのか伺いたい。</p>	<p>通常、キャッシュカードの決済手数料は店舗等が負担して利用されるが、市の納税に関してクレジットカードを利用する場合においては自己負担ということになってしまう。利用のメリットとしてはポイントが付与されるということ、現金を持ち歩かずに済むため現金事故を避けられるなどと伺っている。</p> <p>新たなキャッシュレス決済ということについては近隣自治体でも取り入れ始めたということであり、今後様々なキャッシュレス決済について検討していく必要がある。手数料の部分についても決済手数料などの自己負担に係る部分も含め、どのようなものが利便性が高いか等、十分検討が必要と考えられる。</p>
<p>29 坂東市ふるさと応援寄附制度の活性化</p>	<p>ふるさと納税制度について、境町は坂東市より寄付額が多いと伺った。坂東市におけるふるさと納税について、どのような事を実施し、どのように集めているかを伺いたい。坂東市と境町ではさほど地域資源は変わらないのではないかと思う。境町は何に頼ってふるさと納税を集めているのか、坂東市ではどのように取り組んでいるのかを伺いたい。</p>	<p>境町については、全国でも10本の指に入るほどであり、寄付額が県内でも1番、関東でも1番となっている。坂東市でもふるさと納税を同じように実施しているが、品数についても境町はかなり多い。</p> <p>坂東市における今後の取組について、品数を増やすとともに目玉商品のようなものを作らせて頂き、取り組みを強化していきたい。</p>
<p>30 企業誘致の促進（坂東インター工業団地）</p>	<p>坂東インター工業団地について、造成工事が進み、営業をスタートしている企業もある状況と伺っている。現在の進捗状況でまだ造成が完了していない部分が一部あると思うが、その状況と地元雇用の成果が出ているかということ伺いたい。</p>	<p>坂東インター工業団地については分譲を進めており、16区画のうち現在決定しているのが14区画で、残り2区画という状況になっている。圏央道効果で非常に多くのバラエティに富んだ企業が手を挙げてくれた。大きな実績のある企業さんにも来ていただけたことにより、若い人たちの安定雇用にもつながると想定できる。今後市としては、地元の若い世代にPR及び企業との縁結び等の協力をするといったことも考えていきたい。</p>

事項	意見・質問（要旨）	回答（要旨）
30 企業誘致の促進（坂東インター工業団地） ※前項の続き	<p>（上記の回答に対して）</p> <p>坂東工業団地の地元雇用について、知人が高校を卒業し坂東インター工業団地内の企業へ就職することとなった。</p> <p>昨今、地元へ就職するということが困難な中、工業団地が完成し、近くで就職できて良かったという話を今年の春に伺い、自分にとっても良い知らせとなった。今後もそのように地元雇用へ繋げていただきたい。</p>	（意見として拝聴した）

3. 「おもてなし」を体現するサービス改革

事項	意見・質問（要旨）	回答（要旨）
65 坂東市子育て包括支援センターの開設	<p>子育て世代の包括支援センターというものが今年から始まるということなので質問させて頂いた。このセンターの設置はすごく素晴らしいと思う。この辺の細かい部分について今の段階で分かっていることを伺いたい。</p>	<p>子供を産む前の妊産婦の状況から生まれた後の乳幼児の状況を保健師さんが一括して切れ目のない支援ということで、継続的かつ包括的に支援をしていくようなものとなっている。こども課と健康づくり推進課で中心となり、どのような形で進めていくのかを協議し進めている。設置については今年度中に設置され、切れ目のない支援を今後実施させて頂くということで進めていく予定となっている。</p>
	<p>（上記の回答に対して）</p> <p>つくば市ではお子さんが少し大きくなって動けるようになった方に対して助産院や産婦人科のようところでボランティアとして有志を募り、妊産婦や生まれた後の相談相手がない方、話し相手が欲しいという方の為に活動を行っている。つくば市は他の地域から移住された方も多いため、非常にニーズがあったのだと考えられる。子育てに興味があるようなボランティア団体のようなものが子育て世代包括支援センターに繋がっていけば活動に広がりができ、また住みやすさにも繋がると感じた。</p>	（意見として拝聴した）

事項	意見・質問（要旨）	回答（要旨）
<p>66 マイナンバーカードの利活用</p>	<p>坂東市におけるマイナンバーカードの交付率と交付に関して、市で行っている情宣等があれば伺いたい。私もマイナンバーカードを利用しコンビニエンスストアで印鑑証明等をとれるということを知らなかったが、自分と同じような方がかなりいるのではないかと。</p> <p>また、金融機関では本人確認資料としてご使用頂けることから、免許証と同じような効力を持っているといった情宣の仕方をすればもっと交付率が上がってくるのではと思う。</p>	<p>現在のマイナンバーカードの普及率については現在で約10%ということになっている。また、PRについては引き続き実施していきたいと考えている。</p> <p>今後のマイナンバーカードの普及について、総務省よりマイナンバーカードに対して新たな番号を個人が設定し、クレジットカードのような利用やポイントのようなものの付与等の利用を検討している。また、職員等の健康保険証等への利用検討など様々な利用方法について検討を実施していく。</p>
	<p>（上記の回答に対して）</p> <p>市の税のカードが以前あった。そのカードもポイントがついて、住民票等を無料でとることなどができたが、そのようなものも入っているのか伺いたい。</p>	<p>当時は納めて納得ポイントカードということで、完納した方にポイントを付与し、住民票の発行等に利用できるということを別のカードで実施していたのだが、その事業について終了となっている。</p> <p>今後新たにマイナンバーカードを用いた様々な制度を活用していけるような体制を構築していきたいと考えている。</p>
<p>70 利用者目線の見直しや改善（資料館へのアクセス検討）</p>	<p>資料館はどのような施設を指すのか。また、交通機関の代替を市で対応しているようなのだが、この方法を私は初めて聞いた。これによってどれくらい来館者が増えたのか伺いたい。</p>	<p>資料館は坂東郷土館ミュージズ内の資料館で猿島庁舎付近の施設である。この資料館は都心等からこちらに来館される場合、又はお帰りになられる際において非常にアクセスが良くない状況である。</p> <p>こちらは現在の公共交通のみでは対応が困難なため、止むを得ず関係者の来館に対して公用車送迎を行ったが、通常来館者の往復については個人での公共交通利用を前提にしたものになるため、今後根本的な解決を図るためには公共交通網を再検討する際などに改めて検討していく必要があると考えている。</p>

4. 「力強い市役所」をつくる組織と人材の改革

事項	意見・質問（要旨）	回答（要旨）
<p>93 坂東インター工業団地専用水道給水及び施設管理業務</p>	<p>最近、様々な自治体において上水道の設備の老朽化ということが問題視されている。坂東市の上水道の設備について、老朽化問題には直面していないのか伺いたい。</p>	<p>坂東市も例外ではない。岩井浄水場と猿島浄水場の2施設はどちらも老朽化しており、工事費用が毎年大きくなっている状況となっている。その他、水道については県企業局より県西用水を購入し一部地域で利用を行っている。水道事業は独立採算性のため、施設の更新等により負担が水道料金に跳ね返ってしまう。このため、施設が老朽化していてもなかなかそこに手が回らないという状況。なるべく低額で抑えるためにも県西用水の効率的な利用等をはじめ、今後どのような方法が良いのか検討していきたい。</p>
<p>95 災害の際の避難所等の設営</p>	<p>災害の関係で、現在の九州北部が大雨でかなりダメージを負っているが、坂東市では避難勧告や避難指示の基準があるのか伺いたい。</p>	<p>最近国においてレベルの基準が新たに定まり、広報紙等でもお知らせしているが各段階での避難内容などを明確にし、市民の方に周知しているところ。しかしながら、始まったばかりのためまだ十分周知が図れていない部分もあるため、改めて何らかの機会に周知していきたい。</p>
	<p>その基準に関して、ホームページ等で公開しているか伺いたい。</p>	<p>確認し、掲載されていないようであれば掲載を実施したい。</p>